令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	一般社団法人スポーツクラブ神戸ディプロ
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
事業名①	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化事業
助成金額①	877,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブクラブマネジャー設置
事業名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置事業
助成金額②	1,393,000 円

■調査内容

令和 6 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（活動基盤強化事業）で一般社団法人スポーツクラブ神戸ディプロ(以下クラブ)が行っている「総合型スポーツクラブ活動基盤強化事業」の実施状況について調査を行いました。

クラブは、令和 3 年 2 月に総合型地域スポーツクラブとして設立され、「KOSOREN」という民間の体育館を拠点としてスポーツ活動を行っています。現在の会員数は 85 名であり、バドミントン、バスケットボール、ヨガの 3 種目が活動の中心となっております。今後はピックルボールや野球などの種目の追加も検討しているようです。その他に、3×3 バスケットボールのプロチームを所有しており、神戸市内を中心に活動もしているようでした。

調査当日は、バドミントン教室が開催され、参加者 5 名と指導者 1 名にて活動を行っておりました。参加している子どもたちは、水分補給をこまめに行い、指導者とのラリーやゲームを中心にコミュニケーションを取りながら活動をしている様子でした。

■助成の意義

スポーツくじ助成を受けたことにより、新規の教室を企画することができるようになり、総合型地域スポーツクラブとしての認知度向上や会員増加に繋がったそうです。また、クラブマネジャーの賃金についても負担を軽減することができ、計画的な運営ができているとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

スポーツくじ助成金を受給している期間において、各教室の実施回数を増やし、会員及び参加料収入の増加を図れるよう取り組んでいるとのことです。その他にも、地域との連携を行い、地元企業から協賛金を確保できるように努めているとのことでした。

団体として抱えている課題は、指導者や運営スタッフが不足しており、補充や教育などが急務であるとのことです。

■所感

今回調査を行った所感としては、活動の中心となる拠点は確保されておりますが、指導者の確保や会員を増やすための施策について課題があるように思えました。クラブとしては、定期的にスポーツイベント行うことや地域のニーズに応えられるスポーツ活動を行えるよう、地元行政とのヒアリングをしているといった内容も伺いました。今後も地元行政やクラブアドバイザーなどとの連携を強化し、地域住民にとってなくてはならないクラブとなるよう期待しております。

（令和 6 年 9 月 20 日往査、10 月 16 日 WEB 会議形式）

（写真）バドミントン教室の様子(左)　バスケットボール教室の様子(右)

※写真提供：一般社団法人スポーツクラブ神戸ディプロ



